第 31 回

高知県文化環境功労者表彰

事　績　概　要

高　　知　　県

＜文化の振興＞

（高知市）

朝倉（あさくら）　慶景（よしかげ）

（主な略歴）

昭和 31 年～昭和 52 年	県立高等学校にて社会科教諭として奉職
昭和 52 年～	主に「長宗我部地検帳」の分析研究を行い、高知市・土佐市の歴史愛好家を対象に歴史教室を主宰
平成　５年～令和　５年	土佐史談会理事
平成 10 年～令和　５年	平尾学術奨励賞選考委員

（功　績）

昭和 52 年から「長宗我部地検帳」の本格的な分析・考証に着手。また、「土佐史談」を中心に専門誌へ数多くの学術論文を精力的に寄稿するなど、卓越した研究成果から、専門雑誌等にも論考を寄稿し、歴史学の発展に貢献している。

さらに、高知市及び土佐市を中心に、毎月歴史愛好家を対象とした歴史教室を主宰。自ら講師を務め、専門的な中世史研究の成果を平易に解説するなど、地域住民の学術・文化水準の向上に寄与している。

加えて、「長宗我部地検帳にみる上方の人々～石谷・蜷川・斎藤及び治部卿についての考察～」をはじめとする数々の著書を発行している。

これらの研究等は、高知県における歴史学の発展と地域文化の振興に多大なる貢献を果たしている。

＜文化の振興＞

（香美市）

岩崎（いわさき）　しげ子（こ）

（主な略歴）

平成 25 年～	レクリエーションインストラクター資格取得
平成 25 年～	土佐山田民踊クラブにて指導
平成 26 年～	レクリエーションクラブだいあもんどを主宰
平成 27 年～	香南市みどり野福寿会にてレクリエーション講師を開始
令和　５年～	レクリエーションサークル８６０(ハロー)を主宰
令和　５年～	さくらんぼ(民踊サークル)を主宰

（功　績）

平成 25 年４月から「土佐山田民踊クラブ」の指導者に就任。平成 26 年には「レクリエーションクラブだいあもんど」を立ち上げ、平成 27 年４月からは、香南市みどり野福寿会にてレクリエーション教室の講師を開始。その他にも複数の民踊やレクリエーションの教室を立ち上げ、毎月各教室で指導を行っている。

また、技能や知識を教えるのみならず、インストラクターの仲間とともに研修生の受け入れ先としても尽力し、後進の指導者育成にも大きく貢献している。

これらの活動は本県の文化の振興に大きく寄与している。

＜環境の保全＞

（高知市）

高知県自然観察指導員連絡会（こうちけんしぜんかんさつしどういんれんらくかい）

（主な略歴）

昭和 63 年～	高知県自然観察指導員連絡会　設立 現在まで、県民を対象にした多様な観察会を開催
平成 元年～	機関誌「ネイチャー高知」の創刊及び会員専用ウェブサイトへの掲載
令和 ３年～	観察会の報告、活動紹介等を公開ウェブサイトに継続して掲載
令和 ６年～令和 ７年	県内の各機関と連携し、県民参加型の動植物調査に協力

（功　績）

当団体は、昭和 63 年２月の設立以降、38 年間にわたり、県民を対象にした多様な観察会を継続的に実施している。また、平成元年に機関誌「ネイチャー高知」を創刊するとともに、会員専用ウェブサイトへの掲載を始め、県内の自然環境保全に係る普及啓発や情報発信に努めている。

令和３年以降は、観察会の報告、活動紹介等を公開ウェブサイトに掲載するとともに、情報の発信や交換ができる掲示板を設置し、インターネットを活用した広報や普及啓発に継続して取り組んでいる。

近年は、県内の各機関と連携し、県民参加型の動植物調査への協力も行っており、県内の自然環境に関する基礎資料の充実や次世代の育成にも貢献している。

これらの活動は、高知県の自然共生社会づくりや環境の保全に大きく寄与している。

＜男女共同参画＞

（安芸市）

仙頭（せんとう）　ゆかり

（主な略歴）

平成 17 年～	公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団評議員 安芸市社会教育委員（公民館運営審議会委員兼務）
平成 18 年～	安芸市川向地区自主防災会事務局
平成 21 年～	高知県地球温暖化防止活動推進員
平成 25 年～令和　６年	高知県防災会議委員
平成 25 年～	高知県人権尊重の社会づくり協議会委員 安芸市自主防災組織連絡協議会女性部会長
令和　５年～	県立安芸中学校及び安芸高等学校の学校運営協議会委員
令和　７年～	高知県社会福祉審議会委員
令和　８年～	安芸市防災士会副会長

（功　績）

平成 17 年８月に設立された「高知県安芸市川向地区防災会」の設立及び規約づくりの中心を担い、女性が組織や防災活動に関わりやすい仕組みを整え、組織の中で女性の意見が反映される環境づくりに取り組んだ。

また、安芸市自主防災組織連絡協議会女性部会長として、女性が地域や自主防災組織において活躍できるよう支援するなど、女性の育成や、地域の高校生や若者たちを学校ぐるみで巻き込んだ防災訓練、啓発活動等を通じ、次世代リーダーの育成にも取り組んでいる。

これらの取組を通じ、地域防災活動における女性の参画を促進し、避難所運営や防災計画に女性の視点が反映される体制を築くことで、本県の県民生活の向上に向けた男女共同参画社会づくりに貢献している。